

遠野市（旧宮守村）

下郷地区自治会

結成までの経緯

昭和58年4月1日自治会結成時に、明るく楽しい安らぎのある地域社会を作るための諸活動の推進事業の一環として「交通、防犯、防災部」を設置し、自主防災組織活動を行っている。

組織の形態

自治会会長が隊長、副隊長2名、地区班長12名が防災班の班長を兼ね、災害発生時の炊き出しの指示や、現場指揮本部との連絡調整、一般家庭防火点検の立会等の任にあっている。

隊長 副隊長2名 班長12名 隊員148名

【会長】 【副会長2名】 【班長12名】 【各世帯1名】

（組織世帯数 148世帯）

（隊員数 148人） H15.4.1現在

活動の概要

年1回開催される宮守村防災訓練に参加し、防災資機材取扱訓練、応急救護訓練等住民参加の訓練には必ず参加し、技術の習得、鍛錬に努めている。

また、地区子供会の夜回り活動の推進指導、地元消防団及び婦人消防協力隊との三者合同での毎月1回の一般家庭防火点検の実施、防火水槽等消防水利の草刈、防火・救急講習会の実施等々活発な活動を行っている。

今後の活動

村営住宅が整備され、転入者が増え地域の人々との交流を図るためにも、具体的に住民の生活に役立ち、利益になることを住民に知っていただき各種訓練、行事の参加を呼びかけていく。また、今後更に自治会組織の活動を活発にし、地区民の連帯と融和、そして安全で住み良い地域づくりを進めていきたいと考えている。

結成・活動のポイント

元々地元消防団の活動が活発なので、消防団と意見を交換し、連携を図りやすくすることがスムーズに活動ができる要因と考える。